



— 滋賀の水環境ビジネスの取組について

平成25年度

滋賀県商工観光労働部商工政策課

①技術・経済交流団の中国・湖南省訪問(湖南省友好提携30周年記念事業)

平成25年7月15日(月)から18日(木)にかけて、滋賀県の友好都市である中国湖南省に友好提携30周年記念事業の一環として、知事を団長とする技術・経済交流団が訪問。

【主な活動】

■杜家毫 湖南省人民政府省長への表敬訪問

■環境分野における相互交流促進に関する覚書の調印

- 1 琵琶湖保全等の経験と成果をいかした技術協力および人材交流を展開する。
- 2 環境学習の分野における人材育成や環境学習の手法に関する技術協力を促進する。
- 3 上記技術協力や人材交流が双方間の経済交流の推進に発展するよう努力する。

■洞庭湖・びわ湖流域共同環境セミナー

政府関係者や研究者、大学生を対象に、双方の環境問題の現状や環境保全に向けた取り組みについてセミナーを開催。

■下水処理場視察

参加者：16名(企業13名、県3名)

今後、本県から技術協力が行われる下水処理場を訪問・視察

■環境関連機関および企業との意見交換

参加者：15名(企業13名、県2名)

湖南省環境保護庁から湖南省環境保護産業の発展状況等について説明。

現地環境関係機関および企業との意見交換(湖南省側21団体が参加)。



②台湾企業視察団の受け入れ

日時:平成25年5月23日(木)

台湾・台南市政府よりBOTにより工業団地を運営管理している企業が、工業団地における排水処理対策を学ぶため、滋賀県の企業および浄化センターを視察。

表敬:滋賀県商工観光労働部長ほか

視察:フォーラム会員企業、湖南中部浄化センター



滋賀県商工観光労働部長表敬



排水処理システムの視察



自動採水装置の説明を聞く視察団

②-2台湾企業視察団の受け入れ(再訪県)

日時:平成25年7月7日(日)~12日(金)

具体的な商談、視察等を行うため、5月に続き訪県。

表敬:滋賀県副知事、滋賀県商工観光労働部長ほか

主なプログラム:工業団地の排水にかかる課題等説明会

フォーラムメンバー企業、湖南中部浄化センター等への視察訪問



現地工業団地における排水処理の課題等説明



湖南中部浄化センター視察



滋賀県副知事表敬(滋賀県庁)

しが水環境ビジネス推進フォーラムの活動 H25年度ー3

③しが水環境ビジネスセミナー(淡海環境プラザオープニングイベント)の開催 商工観光労働部と琵琶湖環境部との共催により「しが水環境ビジネスセミナー」を開催

目的:淡海環境プラザの取り組みを紹介し、その活用を広く呼びかけるとともに、ネットワーク形成を促進する。

日時:平成25年8月7日10:45-17:00

場所:淡海環境プラザ

<プログラム>

講演1:「日本の上下水道技術の海外展開」

国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官 加藤裕之 氏

講演2:「海外水事情レポート-下水道処理の現状と課題-」

(株)日水コン事業統括本部技師長(技術顧問) 竹島 正氏

活動報告:滋賀県

ディスカッション、展示見学(交流会)

結果概要:

参加者:87名

出展企業:23社・大学



④台湾・台南市における工業団地汚水処理プロジェクト

Team-TINANによる現地視察・交流事業

目的:台湾・台南市における工業団地の汚水処理に係る課題解決のため、現地を訪問し、汚水処理施設の視察や意見交換を行うほか、市政府への表敬、現地企業との交流などを行う。

日時:平成25年8月27日(火)～30日(金)

訪問メンバー:団長:滋賀県商工観光労働部長

企業等:(株)アオヤマエコシステム、大洋産業(株)、オプテックス(株)、積水化学工業(株)

積水塑膠管材股份有限公司、一圓テクノス(株)、(株)堀場製作所、滋賀銀行、滋賀県立大学、滋賀県中小企業診断士協会、NPO法人カーボンシンク、滋賀県環境保全協会 以上13企業・団体15名

訪問先等:

- 台南市頼市長(代理:許副市長)表敬訪問
- 台湾企業等への技術・製品等説明会及び意見交換会(出席者:270名)
- 台南市環境保護局等との意見交換会
- 現場視察

樹谷園區汚水処理センター、永康科技工業区、柳營病院総合廃水処理場、その他奇美グループ関連企業



台南市副市長表敬



説明会@樹谷業区



樹谷園區汚水処理センター視察

⑤びわ湖環境ビジネスメッセ2013

特設ゾーン「しが水環境ビジネス推進プロジェクト」の設置

- 開催期間:平成25年10月24日(木)~26日(土)
- 場所:滋賀県立長浜ドーム
- 過去最多の314企業・団体が出展。来場者34,740人
- フォーラムから9企業・団体が出展
ワンフォオール(株)、ダイセン・メンブレン・システムズ(株)、三和産業(株)、(株)日吉、ダイヤアクアソリューションズ(株)、中島商事(株)、メタウォーター(株)、(株)ウェルシィ、しが水環境ビジネス推進フォーラム(順不同)
- フォーラムブースにも3日間で約250名が来場。滋賀の水環境ビジネスの取組などを紹介、7社が新たにフォーラムへ参画。



「しが水環境ビジネス推進プロジェクト」ゾーン

⑥「第5回しが水環境ビジネスセミナー」の開催

- 日時:平成25年10月24日(木) 14:00~17:00
 - 場所:長浜バイオ大学 大講義室(参加者160名)
 - 講師:吉村和就氏(グローバルウォーター・ジャパン代表)
魚谷禮保氏(大阪ウェルディング工業(株)会長)
- 日本を代表する水環境問題の専門家吉村和就氏による世界の水ビジネスの最新動向の提供と、滋賀県の水環境ビジネスの海外展開の取組等の紹介。
- 参加者アンケート回答のうち、94%が参考になったと回答



しが水環境ビジネスセミナーの様子

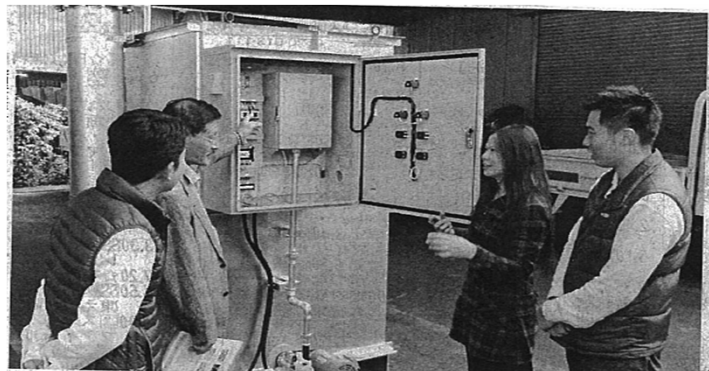
⑦フォーラム事業で初のビジネス成立！

台湾の工業団地(企業)へ排水処理装置(試験装置)納入

- 平成25年10月31日プレス発表(読売、京都、中日、時事通信、J-Net21で記事掲載)
- フォーラムメンバーの情報提供をきっかけに、5月に台湾からの企業の視察を受け入れ、8月には、滋賀県商工観光労働部とメンバー企業が参画するチームにより、現地(台南市)での污水処理場等の視察や企業との交流・商談を実施。
その結果、現地の工業団地入居企業の污水処理に関する課題解決のため、フォーラムメンバー企業の排水処理装置が採用。

- 案件名:テラスト反応処理・SBC(多段式微生物処理)処理試験装置の納入
(高濃度のBOD・CODや色度など有機質排水の処理、フッ素やホウ素などの重金属類を含む無機排水の処理などに対応。この試験装置を活用して、現地における企業等の污水処理試験を行い、必要な設備の導入につなげていくとともに、台湾全土にも販売展開を目指す)

- フォーラムメンバー企業:株式会社アオヤマエコシステム
(大津市瀬田神領町40-3)
相手方企業(契約相手方):聯奇開發股份有限公司
(台湾台南市新市區中心路8號(樹谷園區))



納入される装置の研修に来県した聯奇の技術者

⑧台南市政府副市長の知事表敬訪問

■日時：平成25年12月19日11:30～12:00

■場所：知事公館

■訪問者：台南市政府 副市長
新聞及び国際関係処長
新聞及び国際関係処 国際関係科長
新聞及び国際関係処長秘書
新聞及び国際関係処 国際関係科員

許和鈞
趙卿惠
陳宜君
陳瑋琳
薛孟哲
林政徳

通 記



知事表敬の様子

⑨台南市との経済・産業分野等の交流に関する覚書の取り交わし

■台南市政府副市長の知事表敬訪問に併せて、滋賀県及び台南市が、水環境ビジネスなど環境保全分野をはじめとするさまざまな産業・経済分野の交流の推進に協力をおこなっていくための覚書を西嶋栄治滋賀県副知事と許和鈞台南市副市長により取り交わし。

滋賀県と台南市の経済・産業分野等の交流に関する覚書

滋賀県と台南市とは、両県市間において、環境保全産業をはじめとする経済・産業の交流を推進するとともに、相互の理解とさらなる交流を深めるため、双方が協力して取り組むこととし、以下の内容に合意した。

- 1 滋賀県および台南市は、双方が持つ資源や技術、経験やネットワーク等を活かしながら、行政と民間における環境保全分野をはじめとするさまざまな産業・経済分野の交流の推進に可能な協力をを行う。
- 2 滋賀県および台南市は、1の交流の推進に当たり、積極的に双方企業や大学等研究機関、団体間における交流ならびに連携の促進に努める。
- 3 滋賀県および台南市は、双方の企業、団体間の取引において、知的財産権の保護に協力し、相互の良好な信頼関係の維持に努める。
- 4 滋賀県および台南市は、観光等その他の分野における交流促進についても、可能な協力をを行う。

こうした取り組みを通じて、滋賀県と台南市は、双方の経済発展および互いの繁栄に貢献していくことを確認し、ここに覚書を取り交わすこととする。本覚書は、日本語および中国語により各二通作成し、それぞれ保有する。

2013年12月19日

滋賀県副知事
西嶋 栄治

台南市政府副市長
許 和 鈞

臺南市和滋賀縣於經濟・産業等方面

交流備忘錄

臺南市和滋賀縣，兩縣市推進以環境保全産業為富的經濟・産業交流，同時為加深彼此的理解及交流，雙方從屬協助，茲同意以下內容。

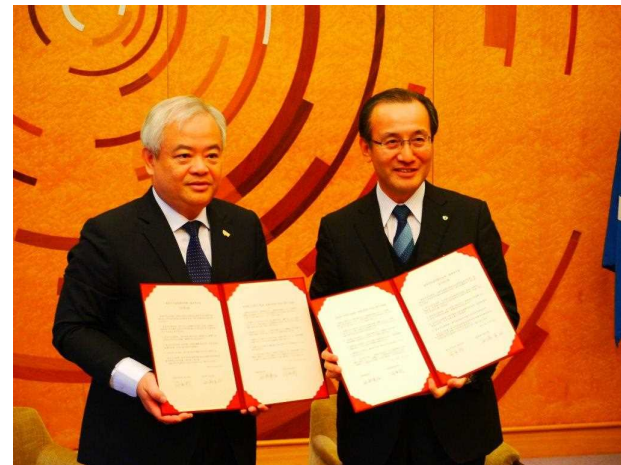
- 1 臺南市和滋賀縣，將活用互有相補的資源、技術、經驗和網絡等，促進雙方政府及民間在環境保全為富的産業・經濟方面的交流推進上儘可能協助。
- 2 臺南市和滋賀縣，為促進第1項的交流，積極努力促進雙方的企業及大學等研究機構、團體間相互交流及合作。
- 3 臺南市和滋賀縣，對於雙方企業及團體間的交易，協助因應財產權之保護，並努力建立雙方信賴關係。
- 4 臺南市和滋賀縣，儘可能協助促進觀光等其他方面的交流。

經由以上繫結，臺南市與滋賀縣為確認在促進雙方經濟發展及相互繁榮上有所貢獻，特此簽訂備忘錄。本備忘錄分別製成中文及日文各兩份，雙方各自保存。

2013年12月19日

臺南市政府 副市長

滋賀縣 副知事



滋賀県副知事および台南市政府副市長による覚書取り交わしの様子

⑩滋賀県と(奇美集団)聯奇開発股份有限公司との覚書の取り交わし

■環境分野における取組をはじめとした滋賀県産業ならびに聯奇開発および関係の企業・団体等の発展のため、相互の技術や経験、ネットワーク等を活用して、双方が連携、協力することについて、滋賀県 商工観光労働部長と聯奇開発股份有限公司総経理により覚書を締結

有効期間:2014年2月6日～2016年3月31日(その後は1年毎の更新)

連携・協力事項等

- ・情報の提供、意見交換の場の設定
- ・説明会、商談会、展示会等の開催および出展等への協力
- ・企業・団体等の紹介とマッチング機会の提供
- ・知的財産権の相互の保護
- ・企業間での共同取組の実施
- ・その他目的を達成するために必要な事業

⑪台湾における滋賀ビジネスサポートデスクの設置

■滋賀県及び滋賀県内に事業所を有する企業・団地等の台南市を中心とした台南への展開及び、台湾の政府機関・企業等の滋賀県への展開を支援するためサポートデスクを設置

有効期間:2014年2月6日～2016年3月31日(その後は1年毎の更新)

サポートデスク:齊富興業有限公司

サポートデスクによるサービスの提供(利用料は、内容に応じて、利用者から徴収)

- ・滋賀県企業等からの相談への対応や調査の実施、台湾の企業との面談機会の調整、通訳等の業務
- ・台湾事情等の滋賀県企業等への情報提供
- ・台湾における滋賀県企業等の情報の発信
- ・企業・団体等の紹介とマッチング機会の提供 など

⑫台南市政府等の受け入れ

目的:平成25年12月に締結した滋賀県と市政府との経済・産業分野にかかる連携の覚書に基づき、台南市政府等8名が本県における水環境保全の取組等を学ぶため、来県。

日時:平成26年3月5日(水)～9日(日)

訪県メンバー: 団長	中華醫事科技大学	教授	孫逸民
	中華醫事科技大学	教授	郭秀蘭
	嘉義大学	学生	孫浩庭
	長栄大学	教授	洪慶宜
	長栄大学	教授	陳淑娟
	台南市政府環境保護局	科長	林文彬
	台南市政府環境保護局	係長	陳原禾
	齋富興業有限公司		林政徳

訪問先: 滋賀県商工観光労働部長表敬、琵琶湖博物館、環境学習センター、びわ湖フローティングスクール



台湾の水環境問題を説明する洪教授



「うみのこ」の環境学習を紹介@びわ湖フローティングスクール

⑬ベトナムセミナーの開催

- 日時:平成25年11月14日(木)10:00~12:00
- 場所:淡海環境プラザ
- 参加者:25名
- ベトナム政府関係者を滋賀県に招き、現地の現状や課題などを発表。
 「ベトナムの環境汚染と改善策 水質汚濁の測定と処理」
 大阪府立大学地域連携研究機構 特認教授 前田泰昭 氏
 「General Da nang's environmental problems」
 ベトナム技術科学アカデミー／ダナン環境技術研究所 Ms.Trunog Thi Hoa
 「General environmental problems in Quangninh province of Vietnam」
 クアンニン省天然資源環境局 Ms.Do Thi Ni Tan
 「Ha Long Bay World Heritage Site」
 ハロン湾管理局 Mr.Vu Duy Anh



参加者からの質問に答える
ベトナム政府関係者

⑭ベトナム国家大学Boi教授らの副知事表敬訪問

- 日時:平成25年12月17日(火)11:30~11:45
- 場所:副知事室
- 平成25年12月13日から15日にかけての「日・ASEAN特別首脳会議」にベトナムのズン首相が来日するのに併せて、ベトナム国家大学の学長が同行。関係の教授らも来日し、滋賀県を表敬訪問。
- 来訪者:ベトナム国家大学ハノイ校

化学部長	Prof. Luu Van Boi
科学技術部長	Prof. Vu Van Tich
国際部長	Prof. Le Quan
学長室長	Dr. Dinh Van Toan
会計部長	Dr. Pham Xuan Hoan



副知事表敬訪問の様子

⑮ベトナム関係機関への訪問・調査

- 出張期間:平成26年1月15日(水)～21日(火)
- 出張先:ベトナム ハノイ市、ハイフォン市、クアンニン省
- 出張者:商工政策課、環境政策課職員 計2名
※ベトナムプロジェクト検討チームの民間企業等と共に実施

■面会者:

ベトナム国家大学ハノイ校、ハイフォン人民員会・天然資源環境局、ハロン湾管理局
カットハイ人民委員会・天然資源環境局、クアンニン省人民委員会・天然資源環境局
JICAベトナム事務所、在ベトナム日本大使館ほか

■実施内容:

現地政府機関との関係構築および課題等のヒアリングを行うとともに、実際に課題となっている現場でのサンプリングを実施。



人民委員会・天然資源環境局等への
訪問



カットバ島コミュニティプラントでの
サンプリングの様子



現地政府職員へのヒアリング

⑮-2 ベトナム関係機関への訪問・調査

■出張期間:平成26年3月10日(月)～15日(土)

■出張先:ベトナム ハノイ市、ハイフォン市

■出張者:商工政策課、環境政策課職員 計2名 ※ベトナムプロジェクト検討チームの民間企業と共に実施

■面会者:

ベトナム国家大学ハノイ校、天然資源環境省ベトナム環境総局、

ベトナム科学技術アカデミー環境技術研究所、

ハノイ市天然資源環境局、ハノイ市都市環境公社、WESTLAKE(タイ湖)管理事務所

ハノイ天然資源環境大学

ハイフォン人民員会・天然資源環境局、カットハイ人民委員会、魚醬工場、水上養殖場

BAI THO VICTORY(観光船管理会社)、 JICAベトナム事務所ほか

■実施内容:

カットバ島において、政府関係機関を招へいたワークショップを開催し、現地政府機関との関係構築および課題等のヒアリングを行うとともに、実際に課題となっている現場の視察調査を実施。



カットバ島でのワークショップ(約45名)



ハイフォン市DONREとの会合



魚醬工場視察

⑩関西領事館フォーラム 第17回関西ツアー(滋賀県)～環境先進県での取組に学ぶ～

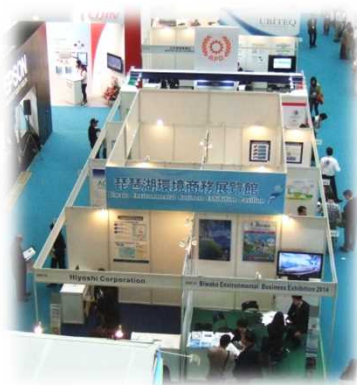
- 日時:平成26年3月17日(月)8:50～18:30
- 参加者:在関西領事館、外国経済機関
農林水産省、国土交通省、経済産業省、滋賀県
- 目的:ツアーを通して滋賀県の取組について知ってもらう
- 訪問先:滋賀県立琵琶湖環境科学研究センター
湖南中部浄化センター
ダイキン工業(株)滋賀製作所

⑪びわ湖環境ビジネスメッセin海外(台北・第9回エコプロダクツ国際展)

- 開催日:平成26年3月13日(木)～平成26年3月16日(日)
- 開催地:台北(台湾) 台北世界貿易センター
- 主催者:アジア生産性機構(APO)
- 出展者:207社(全体)

※うち、びわ湖環境ビジネスメッセパビリオンとして県内企業7者が出展
(しが水環境ビジネス推進フォーラム会員企業も含まれる)

株式会社アオヤマエコシステム、アクアシステム株式会社、トクデン株式会社、
合同会社トレスバイオ技研、日本ソフト開発株式会社、株式会社日吉、松尾バルブ工業株式会社



⑩NPO法人が台湾(台南市)に環境まちづくりや環境ビジネスの発展のため事務所開設

■法人名: 特定非営利活動法人(NPO法人)カーボンシンク

滋賀事務所: 〒520-0025大津市皇子が丘3-1-6-803

台南事務所: 744台南市新市区中心路10号 NGO会館内

■目的: 台南市の環境まちづくり(水環境や低炭素など)と環境ビジネスの発展に貢献するため、滋賀県内企業等が有する環境技術、人材育成、評価の仕組みなどの移転を進めること。

■事業名: 「台湾水環境ビジネス「びわ湖水環境モデル」の実践とASEAN向け布石戦略事業」
(滋賀県緊急雇用創出特別推進事業・企業支援型地域雇用創出事業を活用)

■概要: 現地カウンターパートである奇美實業集團の聯奇開發股份有限公司の支援を得て、台南市内の樹谷工業園区にあるNGO会館に事務所を設置(平成26年3月)し、以下の事業を展開。

①台南市および周辺地域における環境課題やニーズの発掘調査

②調査結果の情報提供(しが水環境ビジネス推進フォーラムの場を活用)

③しが水環境ビジネス推進フォーラムメンバー企業の技術や製品を紹介、普及

④台南市関係者(政府、機関、企業、研究者等)と企業のマッチング

⑤台南市における環境技術や都市開発分野の調査・提言など。

■特記: スタッフは、プロジェクトマネジャー1名と現地常駐2名で構成し、現地政府機関(環境保護局、経済発展局、水利局、農業局など)との定例会議や大学との研究会に参画し、情報収集や意見交換を行っている。



⑱水環境ビジネスコーディネーターの配置(平成25年6月～平成28年3月)



- 目的: 県内企業のフォーラムへの参画の推進、情報の発信、ビジネスプロジェクトへの参加やプロジェクトの創出を図るため、企業や関係機関を訪問し、情報収集や、コーディネートを行う。

⑳各種メディアでの掲載

- 水道産業新聞でのフォーラム特集記事1面掲載

平成25年6月27日号1面の特集記事が掲載される。

- 地球環境とエネルギー誌6月号

(日刊工業新聞社)

「水ビジネスの世界 自治体が水ビジネスに力を入れる理由」特集で滋賀県の取り組みが紹介される。



②1 広報活動

- 草津商工会議所工業部会例会で取組を紹介(平成25年9月18日)
- 立命館大学琵琶湖Σ研究センターシンポジウムで取組を紹介(平成25年9月20日)
- エコテクノ2013(北九州市)への出展(平成25年10月16日～18日)
- マレーシア・ジョホール州訪問団への取組紹介(平成26年2月16日)
- フォーラム展示パネルの作成
- フォーラム案内パンフレットの作成
- パンフレット(繁体字版、ベトナム語版)の作成

■ チームロゴの作成

- ・琵琶湖から“水”に関わる人々が羽ばたく姿を表現したチームロゴを作成。
- ・展示会ブースや名刺に活用していただく。

